



人称不定形

● 人称不定形

不定形は、動詞の語幹に接尾辞 **-ni** をつけてつくります。この不定形に、人称接尾辞がついた形があります。これを人称不定形と呼びます。

人称不定形は、不定形から **-i** をとりのぞいた形に、次の所有人称接尾辞をつけてつくります。ただし、3人称ではそのまま **-i** のついた形に、人称接尾辞 **-a**, **-e** および **-uk**, **-ük** をつけます。

		後舌母音語 vár 待つ	前舌母音語 kér 頼む	円唇前舌母音語 ül 座っている
単	1	várn- om	kérn- em	üln- öm
	2	várn- od	kérn- ed	üln- öd
	3	várn-i- a	kérn-i- e	üln-i- e
複	1	várn- unk	kérn- ünk	üln- ünk
	2	várn- otok	kérn- etek	üln- ötök
	3	várn-i- uk	kérn-i- ük	üln-i- ük

● 人称不定形の用法

人称不定形は、動詞 **kell** (必要である)「～しなければならない」や形容詞 **szabad** (自由な, 空いている)「～してよい」などとともに使われて、動作の主体を表わすことができます。ふつうの不定形とともに用いられた場合は、動作の主体は「不特定の人」になります。

Tanulnom kell. 私は勉強しなくてはならない。
Tanulni kell. (人は一般的に) 勉強しなくてはならない。

動作の主体は与格接尾辞でも表わすことができます。

Lacinak tanulnia kell. ラツィは勉強しなくてはならない。

接頭辞があるとき、中立文の語順は 接頭辞 + 動詞 + 不定形 の順になります。

El kell mennem. 私は行かなくてはならない。
Meg szabad nézmem? 見てもいいですか？